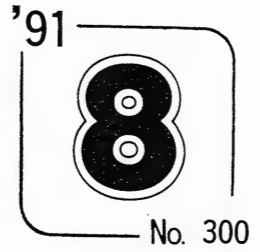




たまたか



苦しいからイヤ

今年で第25回を数える村民登山会。毎回参加者は1000人近くになり、通算すると延べ2、500人の村民が登山を体験し、大自然に親しんだこととなります。

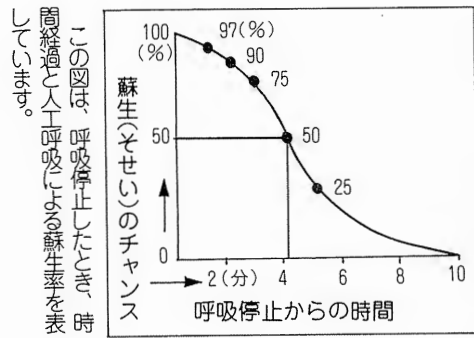
登山の魅力は、なんといっても頂上に達した時の満足感。ことばに言い表わすことのできない感動が込み上げてきます。

でも、この感動は、汗を流しながら前かがみになり、一歩一歩足を進めている「苦しさ」から生まれてくるように感じます。苦しいからこそ本当の「感動」があるのであって、楽をしているは本当の「感動」を知ることはできません。写真提供は、角田幸子さん(小高) (関連記事5ページ)

人が倒れた!

9月9日は救急の日

その時、あなたは何ができますか



「あなたの家族が倒れた。そんな時、あなたは何をしますか」と言われて、できる事と言えば救急車を呼ぶことだけ。これで安心では困ります。救急車を呼ぶことも大切なことですが、救急車が到着するまでにしなければならぬことがあります。9月9日の「救急の日」を機会に、いざという時のための正しい知識を覚えておきましょう。

人が倒れてから

4分間が生死の分かれ目
人が倒れて、呼吸が停止してから4分間何もしない場合、その後治療を受けたとしても10人中約50人の命しか救えないといわれます。

生死の分かれ目ともいわれるべき4分間に私たちはできるだけの応急手当てをほどこし、救急車の到着までに少しでも蘇生の機

会をつくっておかなければなりません。

救急車が到着するまでに行こう

①大出血はないか
まず、自分が落ち着いて、冷静に次の4点を大至急調べて下さい。

②意識を失っていないか
耳もとで名前をよんでみる。反応がなければ気道確保。

意識がなければ

意識がなければ

着いた名前を反応で呼び、落ち声をみる



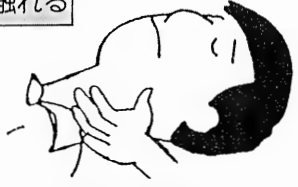
③呼吸をしているか
呼吸をしているかどうか調べる。呼吸していない場合は人工呼吸をほどこす。

呼吸を調べる



④脈はあるか
大腿動脈や頸動脈の脈拍をみる。

頸動脈に触れる



のどぼとけの約3cm外側に触れてみる

脈がない場合は瞳孔を調べ、瞳孔が開いていれば、すぐに人工呼吸と心臓マッサージを行う。

気合いの入った勇姿を披露

第37回 福島県消防操法競技会石川支部大会

ポンプ車の部 小高分団が準優勝
小型ポンプの部 川辺分団が第4位



精鋭たち、練習の成果を発揮

第37回福島県消防操法競技会石川支部大会が、7月21日(日)石川町民グラウンドにおいて開催されました。競技にはポンプ車の部に小高分団、小型ポンプの部に川辺分団が出場し、大勢の応援者を前に選手達はキビキビと競技を披露。競技の結果は川辺分団がわずかの差で4位でしたが、小高分団は見事準優勝し県中大会への出場資格を取得しました。

小高分団は9月に須賀川市が会場で行われる県中大会に出場することになります。

小高分団選手のみなさん

- 指揮者 関根雅彦さん
- 1番員 関根勝男さん
- 2番員 矢吹源重さん
- 3番員 須釜吉徳さん
- 4番員 溝井康夫さん
- 補充員 有賀悦夫さん

川辺分団選手のみなさん

- 指揮者 矢部玄幸さん
- 1番員 坂本由一さん
- 2番員 須藤 昭さん
- 3番員 鈴木嘉兼さん
- 補充員 石川和典さん



川辺分団選手

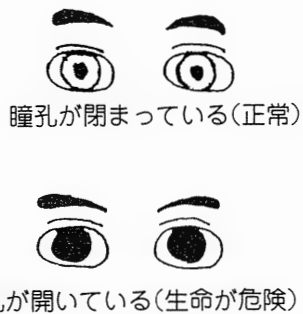


小高分団選手

瞳孔を見る



顔色やくちびるで危険信号を見る



瞳孔が開いている(生命が危険)

以上の4点を調べたら、冷えないように保温して救急車の到着を待ち、事故者、病人を運びます。

生命の危険を感じたら周囲の人の協力を得る

大出血、意識がない、呼吸がない、脈拍がないときは生命の危険信号です。まわりの人に応援を頼んで、的確な処置をしたものです。

さわやかな 風に吹かれて

第25回村民登山会



風はさわやか、思わずバンザイ!

村民登山会が主催する第25回村民登山会が7月21日(日)行われ、村民100人が参加しました。今年の登山は日帰りで那須連峰の沼原湿原、日の出平、茶臼岳を探索。うっそうとした熊笹の中ではむし暑かったものの、頂上付近にはさわやかな風が吹いており、参加者は満足そうでした。今年の登山の様子を写真で紹介します。



けむりがでているけれど、大丈夫かな?



英会話教室の長井先生と
だんなさんが特別参加



総勢100人の村民登山、人が
向こうの方まで連なります



頂上で、乾杯!これがうまい



結団式に出席した選手のみさんと役員の方々

さあ、やるぞ!

福島県縦断駅伝大会玉川村選手団結団式

11月に開かれる「第3回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会」に出場する玉川村の選手団結団式が、7月8日村就業改善センターで行われました。式には選手30人と役員ら20人が出席し、仁井田一駅伝実行委員長と車田村長が、「若いエネルギーで、未来へはばたく玉川を強調するためにも活躍を期待します」とあいさつ。その後、役員と選手一人ひとりが紹介され、選手を代表して高原登紀子さん(小高)が力強く誓いのことばを述べました。選手の皆様は14日から合同練習を開始し、8月には合宿などを行って走力アップを図ります。

- 選手は次のとおりです。
- ◇中学男子 車田裕器(泉中1年) 渡辺守(須釜中2年) 小林浩二(泉中3年) 武田康雄(同) 矢部裕也(同) 高原要輔(同) 矢部克也(同) 上野一徳(同) 柳枝兼二(須釜中3年)
 - ◇中学女子 水野満貴(泉中3年) 石井紀子(同) 佐久間玉枝(須釜中3年) 有賀智子(同)



誓いのことばを述べる高原さん

- 遠野志津子(同)
- ◇高校男子 鈴木篤(日大東北1年) 小林喜美(岩農2年) 倉鎌伸一(日大東北2年) 岩谷唯義(岩農3年)
- ◇高校女子 車田育(帝京安積1年) 永林清美(県立石川2年)
- ◇一般男子 小針和彦(福島トヨーサッシ(株)) 小針仁一(同) 小針一志(コバリ拔型車田信彦(株)福島エンヤ) 小林智和(株)マキシコ) 柳沼好男(四辻分校) 溝井利一(溝井工業) 石森四郎一(株)須賀川東部運送) 阿部義徳(東北ミドリ安全工業(株))
- ◇一般女子 高原登紀子(福島トヨーサッシ(株))

次により村職員(高校卒業程度)採用試験を行います。

試験職種 一般事務

採用予定人員 若干名

受験資格 昭和47年4月2日から昭和49年4月1日までに生まれた方で、学校教育法による高校を卒業した方、又は平成4年3月卒業見込みの方。

試験の方法 第一次試験Ⅱ 教養試験。第二次試験は第一次試験合格者に対して、主として人物について個別面接による試験。

試験日 10月27日(日)

試験場 県立石川高等学校

受付期間 平成3年9月1日(日)から9月30日(月)までの執務時間中。

申込の方法等 申込用紙の交付と、お問い合わせは、役場総務課まで

☎57-3101内線23番

玉川村職員を (高校卒業程度) 若干名 募集します

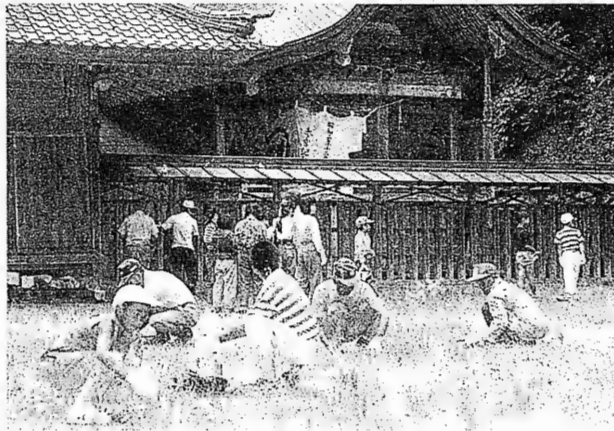
むらのできごと

若い英知と情熱を

第4回 玉川村青年活動懇談会

村商工会青年部が主催する第4回玉川村青年活動懇談会が行われ、村内青年団体の代表者らが出席しました。懇談会では車田次夫村長の基調講演に引き続き、「空港イベントに関する地域青年の対応について」をテーマに意見を交換。間近にせまったテーマだけに活発な議論が交わされました。

7/13

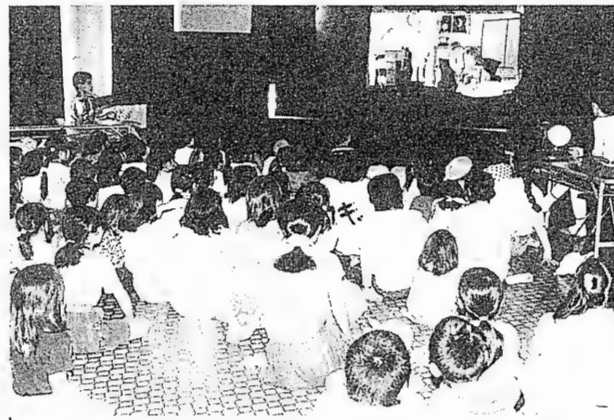


ふるさとのシンボルを大切に

玉青青・南須釜地区推進協議会

玉川村青少年育成村民会議の南須釜地区推進協議会による環境整備作業が、都々古別神社境内と大寺城跡で行われました。今年で7回目を数える催しには、小・中学生と高校生、同協議会の代議員など100名が参加。ふるさとのシンボルを大切にすることを通じて、世代間の交流も図られたようです。

7/28



夏休みのプレゼント

福大生による人形劇

福島大学児童文化研究会による巡回講演「わんぱく広場」が須釜公民館、川辺小学校で行われました。

人形劇「まほうのベッド」やみんなでできるあそびなどの催しに、集まった子供たち100名は大喜び。夏休み中の子供たちにとって、大きなプレゼントになりました。

7/26

7/27

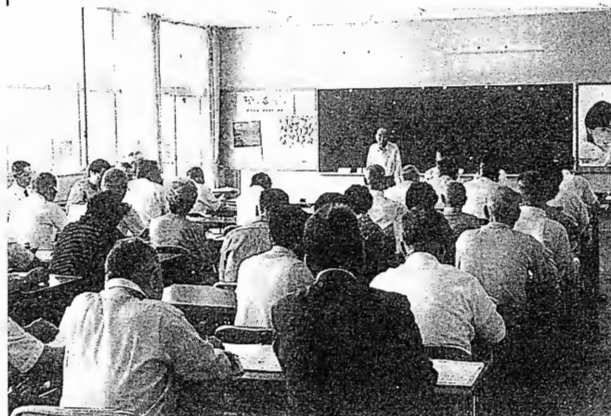
活動の向上を目指して

玉川・平田村老人クラブ交歓研修会

玉川村と平田村の老人クラブ員50人が会の活動の向上を目指して、村就業改善センターで交歓研修を行いました。

研修会では、福島空港と村内の史跡を見学した後、代表5名の事例発表をもとに老人クラブ活動について、活発な意見交換がなされました。

7/9



むらの話題

体験をもとに、熱弁をふるう 泉中

非行防止弁論大会 須釜中

夏休み前に泉・須釜両中学校で非行防止弁論大会が行われました。各クラス代表の生徒は、自分の体験をもとに非行防止に対する意見を堂々と発表し、大勢の聴衆からさかんな拍手を浴びていました。

入賞者は次のとおり

※泉中学校

- 最優秀賞 上野 竜弥(3年)
- 優秀賞 車田 英明(2年)
- 〃 小林 美幸(2年)
- 〃 黒須 紀子(1年)
- 基準弁論 湯沢 康太(1年)

※須釜中学校

- 最優秀賞 小原 英男(2年)
- 優秀賞 矢吹かおり(3年)
- 〃 大野 晴子(1年)
- 基準弁論 石森 裕子(3年)

7/19 7/14



泉中の上位入賞者



須釜中の上位入賞者

朝早くから、ご苦労様でした

河川クリーンアップ作戦

県下一斉の美化作業「河川クリーンアップ作戦」が早朝から、各行政区ごとに行われました。作業は土手の草刈りから空カンなどのゴミ拾いまで様々。ふるさとの川は見違えるほどきれいになりました。ご協力ありがとうございました。



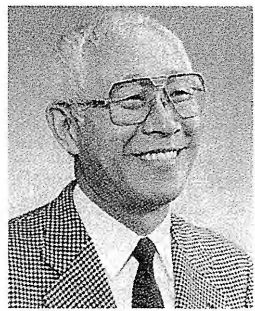
トーヨーサッシが二連覇 商工会事業所対抗野球大会

村商工会主催の第14回村内事業所親善野球大会が村民グラウンドで行われました。ムツとする暑さの中、村内企業6チームが出場し熱戦を展開。福島トーヨーサッシ工業(株)玉川工場が昨年に引き続き、二連覇を達成しました。結果は次のとおり

決勝					
トーヨーサッシ	5-0	中根精工	13-0	泉農協	
		福島富士	11-1	泉農協	
		中根精工	4-2	福島富士	
		Bブロック			
		トーヨーサッシ	3-0	東京精工	
		トーヨーサッシ	4-3	玉川村役場	
		玉川村役場	2-1	東京精工	
		中根精工			

7/28





■著者紹介■

萩原 茂裕 (はぎわら しげひろ)
1929年北海道旭川市生まれ。慶応義塾大学経済学部卒業。経営コンサルタント時代から地域開発・ふるさとづくりを手がける。現在、「日本ふるさと塾」を主宰し、まちづくりのプランナーとして、数多くの地方公共団体の地域づくり基本計画、実施計画などの策定に携わる。蓮沼門三社会教育賞受賞。著書に「手づくりのふるさと」、「日本人とまちづくり」、「レッツ・ラブ運動の展開」、「第四の教育～ふるさと教育～」などがある。

子供や孫への「贈り物」、お互いの力でまちづくり ④

「同じ土俵に上がっていますか」

同じ目的に向かつて、ともに汗を流す

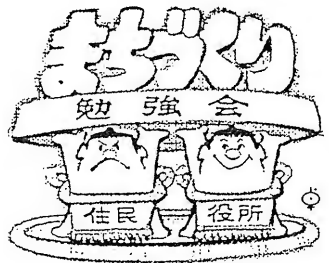
「こういうまちをつくりたい」「こんなまちにしたい」という目標が決まっても、「この指とまれ」では、まちづくりは進みません。そこに住む人々の気持ち、一つになって高揚しなければなりません。それには、みんなが、同じ土俵に上がることです。住民の一人ひとり、それぞれ主義主張が違い、価値観が違い、立場が違います。しかし、それを越えて、「まちづくり」という具体的な目標に向かつて、同じ土俵に上がって汗を流すことができるかどうか、ここが分かれ目です。例えば、同じ話を聞いても、ただでんでんばらばらに、自分の意見をがなりたてるのではなく、そのベースには、このまちをよくしようという一点で通じているかどうかなのです。

勉強会を開いて

まちづくりを模索

北海道の松前半島にある江差町は、人口約一万人たらずの小さな町です。民謡の『江差追分』でおなじみですが、その昔は、

初は、30人も集まればと思っていたところ、なんと五百人も人が集まりました。勉強会の名前を『江差地域大』とし、一流の講師を呼んで



ニシン漁でたいへんに栄えました。江戸時代には、北前船が全国各地に海産物を運び、江差の春は江戸にもない」といわれ、ニシン御殿が立ち並びました。ところが、ニシン漁が振るわなくなり、江差の町は、その後、衰退の一途をたどりました。「なんとかしなければならぬ」と町の若者たちは考え、そ

真剣に話を聞き、まちづくりのための模索を続けました。つまり、みんなが同じ土俵に上がったのです。

若者の熱意が

まちを変えた

昭和六十一年のことです。関西の造船会社が、往時の北前船を再現し、兵庫県の博物館に寄贈することになりました。

「北前船は、おれたちの祖先がつくった船だ」江差の若者たちは、その造船会社を説得し、とうとう北前船を、日本海に航海させるイベントを成功させました。これがきっかけとなって、江差とソ連のナホトカ間のヨットレースが行なわれ、さらに、隠岐島、佐渡島、奥尻島を結ぶヨットレースへと発展しました。

この動きに注目した北海道庁が乗り出し、二年前には、素晴らしいヨットハーバーも誕生しました。そして、平成元年の国体のヨット競技の会場にまでなったのです。海の男たちが、まちづくりという同じ土俵に上がり、心を一つにしたからです。

法律相談所を

開設します

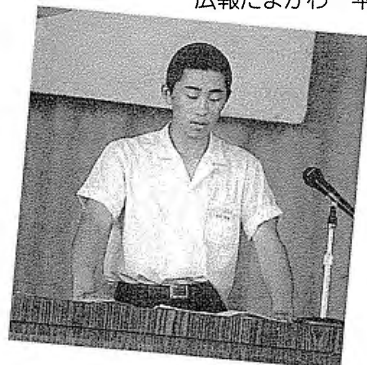
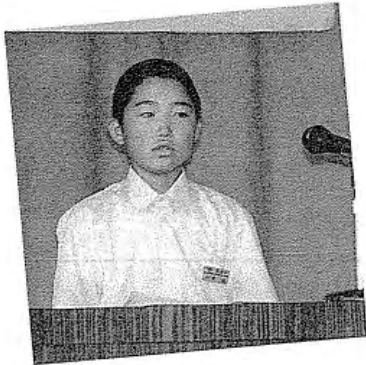
身の回りの法律問題でお困りの方、弁護士が相談に応じますので、お気軽においで下さい。秘密は厳守、相談料は無料です。日時 9月19日(木)午前10時～場所 須釜公民館 詳しくは玉川村社会福祉協議会 57-3101内線56番

あなたかいは

48の国々へ

平成3年1月からスタートした「国際ボランティア貯金」。平成2年度は取扱期間が3カ月と短期間でしたが、玉川村では27人もの方からお申し込みをいただきました。(全国では212万94人)

皆さんのご協力で心から感謝申し上げます。お寄せいただいた善意の寄附金は、102の民間海外援助団体が実施する148の事業(総額9億1358万円)を通じて、48ヶ国の国々の人たちの幸せのために役立てられます。今後も引き続き、ご協力をお願いいたします。玉川郵便局 須釜郵便局



くらしの情報

愛(ありがとう)

7月19日の献血者は109人でした。ご協力に感謝します。太字は400ミリ認献血者

※福島空港共同企業体工事現場(51名)

- 高橋敏男 河野悦朗 武田 明 寺尾健治 伊藤正利 渡辺 猛 葛西一仁 高橋 仁 菊地清竹 松江雄平 吉田美穂 水戸修一 大学 明 安藤紀子 遠藤 操 相楽幸子 鈴木和子 根本清三郎 草野ハツヨ 関根 正 先崎公清 今井 諭 津川宗一 相楽 文明 草野ナツ 北山功人 常田 藤衛 桑原公夫 大槻綾子 水谷 恵美 糸原 貞 石川明義 水 大橋悦子 藤澤幸雄 若林久子 佐藤一正 中村和往 鈴木隆之 佐藤 丈夫 堀 雪路 村上万佐剛 佐藤 正彦 関根昭雄 伊藤博文 本間 正彦 阿部久光 原 泰司 石井一也 山口勝利 国分勝枝 五味 功

※奥野電気株式会社(4名)

- 円谷光男 角田美知江 岩瀬万里子 添田 実

※駒木根工業株式会社(12名)

- 吉田義顕 鈴木吉二郎 熊田 栄子 宗像明美 水野 修 森 百合子 草野正博 小林梅子 南條 玲子 鈴木初子 藤田藤子 鈴木 健一

※玉川村役場(42名)

- 石井雅夫 小林 弘 湯沢キイ子 坂本豊一 高林重和 車田ヨシ子 溝井康夫 車田勝一 小針敬子 大竹晴美 高原昭子 仁井田 健久 保木徳雄 国井好司 草野義房 溝井陳彦 矢部正喜 塩沢理博 石森春男 矢部玄幸 丹内一彦 三吉隆之 岩谷勝雄 須田 潤一 野口庄嗣 西川美枝子 湯沢徳雄 佐藤恵美子 車田次夫 小針 武彦 溝井浩一 増子貞美 三瓶アキ子 矢部照子 矢部美枝子 大野 賢一 車田光子 遠藤豊子 曲山 孝夫 溝井正治 小針達夫 森 博

消防職員を募集します

須賀川地方広域消防組合では平成4年度採用の消防職員(高校卒程度)を募集します。受付期間 8月1日から8月31日まで(郵送の場合も必着) ・職種と採用予定人員 消防職若干名 ・受験資格 昭和45年4月2日から昭和49年4月1日までに生まれた男性。(学歴は問わない) 身長おおむね160cm。胸囲は身長のおおむね2分の1以上。聴力が左右正常で視力は両眼とも裸眼で0.3以上。色覚が正常な者。 ・詳しくは消防本部総務課 0248(76)3111 または、玉川村役場総務課 57-3101 内線23番

Uターン希望者の登録制度を開始

県外に住んでいる人で、県内地元企業にUターン就職を希望される方を対象に「Uターン登録制度」を開始されます。この制度は、Uターンを希望しても地元企業の情報不足のため就職できなかった方のため、あらかじめUターン希望の条件を登録しておき、就職のあつ旋を行なうものです。登録は「Uターン登録票」に記入し、地元市町村又は公共職業安定所かふるさと福島就職センター(東京都上野)に提出することになります。登録は地元にいる両親が代理でも、また、郵送でも行なえます。詳しくは、役場企画調整課 57-3101内線46番。

ご利用下さい 国の教育ローン

9月1日から取扱いが始まる国の教育ローンをご存じですか。昨年度は国の進学ローンの名称で、貸付件数325件、融資金額2億8,748万円の利用がありました。今年度からは融資限度額も100万円から150万円に引き上げられ、より力強い味方になっています。対象者 入学、在学している方の保護者または本人 ・融資額 学生、生徒1人につき150万円(ただし、在学中の費用については50万円) ・融資期間 5年以上、在学期間内の元金据置が可能 詳しくは国民金融公庫郡山支店 0249-237140

消費税の中間申告 納税は1/2まで





個人事業者の方で平成2年分の消費税額60万円を越える方は中間申告が必要です。中間申告により納付すべき税額は、平成2年分の消費税額に12分の6を乗じた金額です。なお、平成3年1月1日から6月30日までの期間を一課税期間とみなして仮決算を行ない、この仮決算に基づいて消費税額を計算して中間申告をすることもできます。詳しくは、最寄りの税務相談室や税務署にお尋ねください。



8月の健康 ごよみ

- 17日(土) 成人病予防教室
岩法寺農構センター
午前9時30分
- 20日(火) ツベルクリン接種 (保)
午後1時30分
- 22日(木) ツベルクリン反応検査
及びBCG接種 (保)
午後1時30分
- 27日(火) ツベルクリン接種 (須)
午後1時30分
- 29日(木) ツベルクリン反応検査
及びBCG接種 (須)
午後1時30分
- 30日(金) 1才6ヶ月健診 (保)
午後1時30分
- 9月
- 1日(月) 成人病予防教室
蒜生農構センター
午前9時30分
- 5日(木) 機能訓練 (保)
午後1時30分
- 11日(木) 母親教室 (保)
午前9時15分
育児教室 (保)
午後1時30分
(保) 保健センター
(須) 須釜公民館

村のようす (3年7月1日現在)

-  1,674戸 (-3)
-  7,663人 (-15)
-  3,800人 (-11)
-  3,863人 (-4)



寄付

ありがとうございます
ごさいます

左記の方々から社会福祉活動資金として寄付をいただきました。厚く御礼申し上げます。

- 川辺の相田喜智さんから 一万円
- 南須釜の大木行夫さんから 二十万円
(村社会福祉協議会)

今月の納税

- 国民年金保険料 8月分
 - 村民税 第2期
 - 国民健康保険税 第2期
- (納期限は、8月26日(月)です。
忘れずに納めましょう)

お誕生おめでとう ございます

(6月届出分)

地区	出生児氏名	保護者名
小高	矢吹 瞳	武美
岩法寺	阿部未歩	公平

おくやみ 申し上げます

(6月届出分)

地区	死亡者氏名	年齢	世帯主名
川辺	相田喜八	77	喜智
南須釜	榊枝吉三郎	76	
〃	大木邦夫	67	行夫

ねたきり老人などに “肌着の暑中見舞”

村社会福祉協議会では、村内のねたきり老人27人、ひとり暮らし老人24人に暑中お見舞として肌着を贈りました。この暑中お見舞は、皆様から

8月10日
は
道の日
です

の温かいご寄付の一部を活用させていただきます。7月中旬に家庭奉仕員が対象者宅を訪問して“肌着の暑中見舞”として届けたものです。

8・9月の公民館 行事予定

- 19日(月) 午前9時
少年ふるさと運動 (就)
- 20日(火)
少年ふるさと運動「野外研修」 (須)
- 21日(水) 午前9時30分
なつ椿学級 (須)
午後1時30分
こぶし学級 (就)
- 9月1日(日) 午前8時
第18回役職員親善ソフトボール大会 村民グラウンド
- 4・5日(水・木)
こぶし・なつ椿学級「野外研修」 (就)
就業改善センター (須)
須釜公民館

わかりにくいカタカナ
最近よく耳にするカタカナ語
ですが、中には分かりにくいもの
があります。そんなカタカナ
語を今月から一つずつ解説した
と思います。
アイボリー…象牙。象牙色。